

平成26年度の取り組み状況について

(平成26年1月末現在)

【総会等】

- 平成26年5月29日 平成26年度 定期総会 (帯広市役所 10階 第3会議室)

【要請活動】

① 日程

- 平成26年5月15日 帯広市とともに民主党に対し、帯広畜産大学の整備拡充について要望
- 平成26年6月23日 帯広市とともに自民党に対し、帯広畜産大学の整備拡充について要望
- 平成26年7月17日 十勝圏活性化推進期成会とともに関係機関に対し、帯広畜産大学の整備拡充について要望 (札幌方面)
- 平成26年7月18日 十勝圏活性化推進期成会とともに関係機関に対し、帯広畜産大学の整備拡充について要望 (東京方面)

※ 事務局職員1名が同行

② 平成27年度予算要望の内容

次の帯広畜産大学の整備拡充に係る事項を要望した。

- 特別経費の交付
 - ・ 食と動物の国際教育研究拠点の形成
 - ・ 国際的通用性を備えた獣医師育成のための国際的教育研究拠点の形成
 - ・ オーセンティック・インфекションを基盤とした家畜原虫病研究の新展開
 - ・ 疫学手法を用いた十勝モデル構築による食の安全確保
 - ・ 世界の畜産衛生フィールドで活躍できる国際専門職業人の養成
 - ・ 国際標準の食品安全マネジメントシステムに関する教育モデルの構築
- 基盤的設備の整備
 - ・ 生体内遺伝子発現解析システムの整備
 - ・ マイクロチップ次世代シーケンサーシステムの整備
- 教育研究施設の整備
 - ・ 総合教育支援研修センター整備
 - ・ 図書館改修
 - ・ 総合防災センター整備
 - ・ 産業動物感染実験施設整備
 - ・ 基幹・環境整備 (空調設備等含む)
 - ・ 講堂改修 (天井耐震化・老朽改善及び国際シンポジウム等開催可能な施設整備)
- 運営費交付金の措置
「日本の食料基地」である十勝に位置する、我が国唯一の国立農学系単科大学として、教育・産業など様々な分野における役割を持続的に果たすとともに、十勝の地域資源を生かした研究・開発の推進に対し、必要な運営費交付金を措置すること。

【アンケート】 次年度の推進体制、取り組みの方向性に係るアンケート

- ① 趣 旨：今後の取り組みの方向性と、それを推進するための組織のあり方について、十勝高等教育まちづくり会議と帯広畜産大学整備拡充促進期成会のメンバーを対象にアンケートを実施
- ② 調査期間：9月22日～11月7日
- ③ 調査対象：十勝高等教育まちづくり会議及び帯広畜産大学整備拡充促進期成会のメンバー
(※両組織に参加するメンバーには、十勝高等教育まちづくり会議より依頼)
- ④ 調査・回答状況：発送45件 回答33件 (回答率73.3%)

【調査研究】 大学を拠点とした産学官連携・まちづくり

- 平成27年2月9日～10日 (予定)

徳島県徳島市 徳島大学 四国産学官連携イノベーション共同推進機構
高知県高知市 高知大学 高知大学地域連携推進センター

(特徴的な活動)

- ・ 四国産学官連携イノベーション共同推進機構
四国地区の国立5大学が、大学の枠を超えた産学官連携活動を行い、新たなビジネスの種を生み出すことを目指している。
また、新たな技術や研究成果を欲している企業と大学を繋ぎ、新事業を創出することで、大学の知財を活用し、研究活動の活性化と地域社会の発展を目指している。

※ 視察には事務局職員のほか、帯広市関係部 (商工観光部・産業連携室)、十勝高等教育まちづくり会議 企画・事業部会から参加予定。